



デジタル・エンターテインメント・グループ・ジャパン

2009年1月14日

# デジタル・エンターテインメント・グループ・ジャパンが 優れたブルーレイソフトを表彰する 「DEG ジャパン・アワード / ブルーレイ大賞」を創設

映像コンテンツメーカーや映像機器メーカーが加盟する次世代デジタルエンターテインメントの普及団体「デジタル・エンターテインメント・グループ・ジャパン」（会長：塚越 隆行、以下 DEG ジャパン）は本日、ブルーレイディスク（以下 ブルーレイ）ソフトの特長を最も活かした作品を表彰する「DEG ジャパン・アワード / ブルーレイ大賞」（以下 DEG ジャパン・アワード）を創設したことを発表しました。第1回の DEG ジャパン・アワードでは「ベスト高画質賞」「ベスト高音質賞」「ベストインタラクティブティ賞」などの部門賞を設け、さらにその中からグランプリを選出し、ブルーレイの特長を最も引き出すことで家庭での次世代デジタルエンターテインメントの普及に寄与したブルーレイソフトを表彰します。なお、受賞作品の発表、ならびに授賞式典は2009年2月17日に行う予定です。

昨今、ブルーレイ関連市場は順調な伸びを見せています。GfK ジャパンの調査では2008年12月にブルーレイレコーダーの販売台数が前年同月比で約4.4倍の伸びとなったほか、全DVDレコーダーにおけるブルーレイレコーダーの販売台数の割合が62.5%を記録し、ブルーレイレコーダーの売上がDVDレコーダーの売上を大幅に上回りました。またブルーレイソフトについては2008年通年での日本国内での売上額が前年比で約4倍の成長となるなど、市場全体として大幅な伸びを見せています。また今後のブルーレイの普及をさらに進めるべくDEG ジャパンがハイビジョンテレビおよびブルーレイの所有者を対象に行った調査では、ブルーレイの購入動機として約70%の人が「高画質」「高音質」といった特長を重視しているということが判明しました。DEG ジャパンではこれらのポイントを「DEG ジャパン・アワード」を通し消費者の方々にさらに訴求することで、ブルーレイのさらなる普及につなげられるものと確信しております。

DEG ジャパンはDEG ジャパン・アワードによる表彰活動を行うことにより、デジタルエンターテインメント産業の裾野を拡げてゆき、会員企業の事業の拡大に貢献できるものと期待しております。

## 「DEG ジャパン・アワード / ブルーレイ大賞」概要

### 1. カテゴリー

「DEG ジャパン・アワード / ブルーレイ大賞」は下記のカテゴリーによって構成されます。

- グランプリ
- ベスト高画質賞(実写部門 / アニメ部門)
- ベスト高音質賞(音楽部門 / 映像部門)
- ベストインタラクティビティ賞

### 2. 審査委員

#### 審査委員長

麻倉 怜士 (AV 評論家)

#### 審査委員

藤原 陽祐 (AV 評論家)

本田 雅一 (AV 評論家)

明智 恵子 (株式会社キネマ旬報社 キネマ旬報 編集長)

米崎 明宏 (株式会社近代映画社 スクリーン 編集長)

小川 純子 (株式会社角川マガジンズ DVD で一た編集部 編集長)

斉藤 英夫 (株式会社日之出出版 DVD VISION 編集部 編集長)

DEG ジャパン 機器メーカー会員

(順不同、敬称略)

### 3. ノミネート対象商品

2008 年 1 月 1 日～12 月 31 日の間に国内で発売・販売されたブルーレイ作品

### 4. 審査プロセス

#### □ 1 次選考

DEG ジャパン会員各社からのエントリー作品を審査委員が審査を行いノミネート作品を決定

#### □ 2 次選考

審査委員が一堂に会する 2 次選考会にて審査を行い、ノミネート作品の中から受賞作品を決定

## 【DEG ジャパンについて】

デジタル・エンターテインメント・グループ・ジャパン(DEG ジャパン)は、次世代のデジタルエンターテインメント市場のさらなる成長を目的に、映像コンテンツメーカーや映像機器メーカーが一体となって活動を行う業界団体です。2008年6月に発足し、現在計31社が加盟しています。

DEG ジャパンの活動の詳細並びに最新のブルーレイソフト情報については、

<http://www.deg-japan.jp/> でご覧いただけます。

本件に関する報道関係各位からのお問い合わせ先:

DEG ジャパン広報事務局

(株式会社プラップ ジャパン 内)

担当: 坂井 伸也、佐伯 卓也、藤沢 佳隆

電話: 03-3486-6839 e-mail: DEG@prap.co.jp